

支援現場のペットの困り事

ペットリエゾン※ (県の訪問型動物相談支援員)に お気軽に ご相談ください!

※ペットリエゾン: 県の獣医師職員。「ペット」と「リエゾン」(フランス語で橋渡しの意味で使われる)を掛け合わせた造語。



支援現場でこんな困り事はありませんか?

- 支援対象者宅に訪問する度に犬や猫が増えている
- ペットの飼育環境が不衛生になっている
- ペットを飼いたがっているが世話が十分にできるか心配
- ペットの飼育費用が膨らみ、生活費を圧迫している
- 入院や施設入所が必要となった際のペットの預け先が心配



早期に相談いただくことで解決に向けて一緒に対応を検討します

早急な対応は困難である為、日頃からの備えが大事です。日頃の備えについてもペットリエゾンにご相談下さい。

ご相談方法

1

電話でご相談

2

ペットリエゾンが
福祉関係機関へご訪問

3

ご希望に応じて、
支援対象者宅に同伴

ペットリエゾン(県の訪問型動物相談支援員)にぜひ、ご相談ください
神奈川県生活衛生課動物愛護グループ(福祉関係機関からのご相談専用ダイヤル)

☎045-210-4947

平日 9時～12時
13時～16時

※対象地域: 横浜市、川崎市、相模原市及び横須賀市を除く県内地域

※福祉機関期間との連携を通じてより適切な支援を行うため、支援対象者からの直接の連絡はお受けしていません。



ペトリエゾンによる支援メニュー

1 支援対象者がペットを適正に飼うための支援

事例1 支援対象者宅に訪問する度に犬や猫が増えている
⇒●避妊去勢手術、ゾーニング等の適正飼育方法の助言

事例2 ペットの飼育環境が不衛生になっている
⇒●ノミダニ対策等適正飼育の助言、関係機関（動物愛護管理部局等）との連携

事例3 ペットを飼いたがっているが、世話が十分にできるか心配
⇒●飼育費用、避妊去勢手術、万が一の時の預け先の確保等、適正飼育に必要な知識の助言

2 支援対象者がペットを飼うのが困難になった時の支援

事例1 ペットの飼育費用が膨らみ、生活費を圧迫している
⇒●安価なペットフードの助言、新たな飼い主探しの方法などのご案内

事例2 入院や施設入所が必要となった際のペットの預け先が心配
⇒●ペットシッターやペットホテルのご案内（近隣の事業者情報の抽出）
●老犬ホームなど有料の終生飼養施設のご案内
●新たな飼い主探しの方法などのご案内
※急な預かり先などをすぐに見つけることは難しいです、日頃から備えておきましょう。
日頃の備えについても、ペトリエゾンにご相談ください！

3 会議等への参加、講習会の実施

⇒●「福祉支援とペット問題」等の講習が可能です。
※ペットが起す問題、飼い主宅訪問時に気を付けるべき点、ペトリエゾンが早期に係る利点等

※上記にないメニューについても、対応策について一緒に検討しますので、お気軽にご連絡ください。



youtu.be/9oqHk3mvdYY